

単元名 「たて画」の筆使い

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 「縦画」の筆使い(始筆・送筆・終筆)について理解するとともに、筆圧に注意し、穂先の向きに気を付けて「縦画」を書くことができる。
 (2) 「縦画」の筆使いに気を付けて、自分の課題を考えて書くことができる。
 (3) 「縦画」の筆使いに気を付けて、字形を整えて書こうとする。

標準的な展開例

03020103_001

【教材名】『土』（毛筆）（P. 14～P. 15）

【準備等】水書板，電子黒板，練習用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1～2 「縦画」の筆使いに気を付けて、『土』を書く。 ★「縦画」の筆使いに気を付けて書こう ○用具の扱い方や姿勢について確認する。 ○硬筆と毛筆で『土』を試し書きし，課題をつかむ。 ○試し書きと教材文字を比較して，穂先の向きや通るところはどうなっているかを話し合う。 ○練習する。 ○まとめ書きをする。 ○試し書きと比べて自己評価する。 ○硬筆でまとめ書きをする。 ○「縦画」のある漢字を探して書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書P. 6～P. 7の姿勢図を使って確認させる。 ・硬筆は教科書P. 15の「ためし書き」の欄を活用させる。 ・毛筆は教科書を見ないで書くようにする。 ・始筆は，筆を左上からゆっくり置いて，一度止めることや，送筆は，穂先の向きを変えずに，同じ筆圧で筆を下へ運ぶことを確認させる。 ・終筆は，筆を止めてから，左上へゆっくり上げることも確認させる。 【評】話し合いの様子や作品を通して，始筆・送筆・終筆や「縦画」の筆使いに対する「知識・技能」を評価する。 ・筆を立て，肘を動かして筆を手前に引くように助言する。 ・「とん」「すうっ」「ぴたっ」の言葉に合わせて書かせる。 ・二画目の縦画は，一画目の横画のだいたい真ん中で交わることを確認させる。 【評】練習や作品を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・「縦画」は，筆の穂先が画の左側を通るように気を付けて書かせる。 ・試し書きと比べ，基準達成を確かめるように伝える。 【評】作品や自己評価を通して，「縦画」の筆使いと自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。 ・教科書P. 15の「まとめ書き」の欄を活用させる。 ・P. 57～P. 60の「漢字表」から探して書かせる児童の意欲を喚起するために，「縦画」のある漢字であれば，既習の漢字でなくてもよいこととする。

【 備 考 】